

「ク リムセ」弓の踊り

大人の部〈弁論部門〉 楠本直嗣

イランカラハテ。楠本スクシ アンネー。

こんにちは。楠本スクシです。

タント 「ク リムセ」 イタハ キー。

今日私は「ク リムセ」の話をします。

タン リムセ モト ネ エネ アン
ウチャシコマ アン マヌ。

この踊りの由来としてこのような説話がある
そうです。

フシコ オホタ ヌプリ オホタ シネ
イラマンテ クル アン マヌ。

昔、山に一人で狩りをしていた人がいたそう
です。

イラマンテ クル コホサケ タ ピリカ
チカハ サン テへ、ター イラマンテ クル
コイキ クス ナハ ウレンカレ カ
コヤイコシ シリ ネー ナハ イエー
クル カ アン マヌ。

その狩人の前に綺麗な鳥が現れ、獲るか獲らな
いか決められない様子だとする説や、

ハンネヘカ コイキ テへ チカハ
ヌカンテ リムセ ネー ナハ イエー
クル カ アン マヌ。オイアン イタハ
キー クル アン。

射るのを止めて鳥に披露した踊りだとする説
など様々な考え方があります。

ポンラモロワ ポロトコタン オホタ タン
リムセ ナー 「エムシ リムセ」ナー
ムックナ レヘテ ナー クヌカラワ

私は小さい頃からポロトコタンでこの踊りや
「エムシ リムセ」やムックナの演奏を見てい
て、

シアンノ クエキロロアン クス、
ヘンバラ カ クアニ カ クリムセ
ルスイ ナハ クラム。

面白いかったので、いつか自分でも踊ってみた
いと思っていました。

ネロホ リムセ ウトゥルケ タ
「ク リムセ」ネーワ 「エムシ リムセ」
モイモイケ ユッケ テへ ピリカ クス
イエールイエ クコヌブル。

中でも「ク リムセ」と「エムシ リムセ」は
動きが激しくかっこよかったので一番好きで
した。

「エムシ リムセ」ネアンペ ヘカチ クネー
オホタ ヌプルペへ オホタ クヌカンテ。

「エムシ リムセ」は小学生の頃に登別で披露
したことがあります。

トゥ アイヌ アンキー リムセ ネー

2人で踊るものだったので友人と一緒に練習

クス クイルワキヒ トウラノ アネシユブ し、大勢の人に見て貰いました。
ワ レンカイネ ウタハ アンヌカンテ。

タニ パハノ ナー 「ク リムセ」アハスイ これまで「ク リムセ」はまだ踊ったことがな
カ ハンネヘカ クキー クス タニ かったので今回覚えました。
クワンテ ワ クキー クスイキ。

ポロトコタン オホタ クヌカラ リムセ ポロトコタンで見た以外に八重清次郎さんや
アハカリ クスルン 八重清次郎 ヘンケ 秋辺福太郎さんの踊りも見たいことがあります。
ネーワ 秋辺福太郎 ヘンケ キー リムセ
カ クヌカラ。

リムセ キー ウタラ オコレ リムセ 踊る人踊る人は自分の踊り方を持っています。
カトウフ シンナイ。

シラウオイ オホタ クヌカラ プリ 白老で見たものは横に揺れて床を踏みしめ弓
ネアンペ クー エシスイエ カンネ は両手で振って踊っていました。
イタンチケ カスウッパ テヘ ウレントキ
アニ クー アニ リムセ。

八重 ヘンケ ネアンペ ポンノ テレケ 八重さんは縦に揺れて弓を片手で持ち、弓が跳
テヘ オアラテキ アニ クー アニ テヘ ねるように振っていました。
クー テレケヘ ネーノ エシヤシヤ。

秋辺 ヘンケ ネアンペ クヌカラ ビデオ 秋辺さんは私が見たビデオでは屋外で踊って
オホタ ネアンペ チセソイタ、ハンネヘカ おり、歩き回らないその場で踊っていました。
オマナン テヘ ターオロホケヘ タ
パテヘ リムセ。

タント 八重 ヘンケ プリ アニ 私が今日踊るのは八重清次郎さんの踊ってい
クリムセ ナハ クラム。 たやり方です。

ルイノ テレケ シリ ピリカ ワ 八重さんの踊り方は跳ぶところの勢いが強く、
イエールイエ クコヌプル クス クキー 1番やりたいと思ったのでこの踊り方にしてい
クスイキ。 ます。

豊川容子 カハケマハ タント ユーカラ 今日は歌を豊川容子さんが歌ってくれます。
ワ エンコンテ。

クアーチャ オココッセ クスカラ。

掛け声は父が掛けてくれます。

イヤイライキレ。

ありがとうございます。

タニ クキー クスイキ。ヌカラヤン。

ではご覧ください。

タニ ヘマカ。イヤイライキレ。

これで終わります。ありがとうございました。